

全国町村会 総合賠償補償 保険制度のあらまし

2020年版

保険制度の趣旨

総合賠償補償保険制度は、町村等が所有、使用、管理する施設の瑕疵（かし）および町村等の業務遂行上の過失に起因する事故について、町村等が法律上の損害賠償責任を負う場合の損害に対して総合的に保険金を支払う保険制度で、全国町村会が損害保険会社と、加入町村等を被保険者とする団体保険契約を締結して実施するものです。

保険制度の内容



賠償責任 保険

事故により町村等が法律上の賠償責任を負担することによって被る損害に対して保険金を支払います。



予防接種 保険

予防接種により身体障害を与えた場合に、町村等が法律上の賠償責任を負担することによって被る損害に対して保険金を支払います。



個人情報漏えい 保険

個人情報の漏えいにより、町村等が法律上の賠償責任を負担することによって被る損害や対応費用に対して保険金を支払います。



公金総合 保険

町村等が取扱う公金が火災や盗難等により損害を受けた場合に、保険金を支払います。



補償 保険

主催・共催する行事等において傷害が発生した場合に、被災者に支払う補償費用に対して保険金を支払います。

賠償責任保険

町村等が次の事故により、「住民等第三者の生命もしくは身体を害し、または財物を滅失・き損もしくは汚損した場合」において、町村等が法律上の賠償責任を負担することによって被る損害に対して保険金を支払います。

- 1 町村等が所有、使用または管理する自治体施設の瑕疵（かし）に起因する偶然な事故
- 2 町村等の業務遂行に起因する偶然な事故
- 3 町村等が自治体施設において生産、販売または提供する飲食物およびその他の製品に起因する偶然な事故
- 4 町村等が、住民等から受託する財物に起因する偶然な事故 など

また、次の行為により町村等が法律上の賠償責任を負担することによって被る損害に対して保険金を支払います。

- 1 不当な身体の拘束による自由の侵害または名誉き損
- 2 口頭、文書等の表示行為による名誉き損またはプライバシー侵害 など

保険の対象とする施設（自治体施設）

町村等施設	施設名	内容
	1. 事務所・建物	本庁舎、支所、出張所等の庁舎
	2. 学校教育施設	小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、特別支援学校、幼稚園等の学校および児童福祉法に基づく保育所
	3. 福祉施設	児童福祉施設、老人福祉施設、保護施設、知的障害者援護施設、身体障害者更生援護施設、母子福祉施設、隣保館、保健センター、特別養護老人ホーム等
	4. 保養施設	国民宿舎等
	5. 文化施設	公会堂、公民館、図書館、博物館等
	6. スポーツ施設	体育館、陸上競技場、野球場、プール、スキー場、スケート場、ゲートボール場、格技場、弓道場等
	7. 産業施設	農林水産物加工施設、育苗施設、集出荷施設等
	8. 生活環境施設	上水道施設、下水道施設、廃棄物処理施設等
	9. 道路	道路、自動車道、一般自動車道、農道、林道、里道、赤道、牧道およびその他の道路
	10. 公園	児童公園等
	11. 港湾・漁港	港湾施設および漁港施設
	12. 住宅施設	公営住宅、官舎等
	13. その他の施設	その他の建造物および工作物
対象とならない施設	医療施設	病院、診療所等の医療施設 療養型病床群等介護保険事業の医療施設 ただし、健診等の保健事業にかかる業務遂行に起因する場合を除きます。

賠償責任保険

保険の対象とする業務（自治体業務）

町村等業務	業務内容
	1. 町村等施設の保守・管理業務
	2. 自然公物の管理業務 (ただし、判決・和解などにより明らかに賠償責任がありと判断される場合にかぎります。)
	3. 学校教育業務
	4. 社会福祉業務
	5. 社会教育業務
	6. 社会体育業務
	7. 工事発注・施工等の業務
	8. 予防接種業務
	9. 健診等業務
	10. その他町村等の行う業務 (政策、事業または事務の企画、立案または策定を除きます。)
対象としない業務	1. 許可、認可、命令その他の行政処分
	2. 医療業務（健診等の保健・福祉事業にかかる業務を除きます。)
	3. 消防、救急、治安または災害救助の業務
	4. 治山治水業務、農地開発業務、耕地整理業務、公有水面埋立業務、都市計画業務、土地区画整理業務等の土地の改良事業、保全開発業務またはそれらの企画、立案、策定に関する業務
	5. 強制執行または即時強制

保険の対象とする生産物（自治体生産物）

保険の対象とする施設において生産、販売または提供する飲食物およびその他の製品。
ただし、輸出生産物、医薬品・医療機材は除きます。
また、効能不発揮による賠償責任および自治体生産物自体に生じた損害の賠償責任は対象外です。



保険の対象とする受託物（自治体受託物）

保険の対象とする施設において、住民等から預り管理する受託物の損壊による、受託主に対する賠償責任を対象とします。現金・有価証券・美術品・骨董品・自動車等は対象外です。

指定管理者制度の取扱い

公の施設の管理を地方自治法第244条の2第3項および第4項に基づき指定管理者に行かせた場合において、町村等に賠償責任が発生する場合には、町村等の責任部分は本保険の対象となります。また、指定管理者が負うべき賠償責任についても、2011年6月1日より、指定管理者そのものを被保険者とみなし、町村等の責任と同様に本保険で対象となりますが、施設内でその指定管理者が独自の事業を運営する場合は、その運営上もたらされる賠償責任は、その指定管理者が負うものとし、本保険の対象外となります。

予防接種保険

町村等が実施する予防接種業務について、次の3つの保険で対象となります。

A 保険 **予防接種賠償責任保険**
 予防接種を行ううえでの（または過去に行った予防接種につき）過失により、その予防接種を受けた者の身体もしくは生命を害した場合、町村等が法律上の賠償責任を負担することによって被る損害に対して、保険金を支払います。

B 保険 **法定救済措置費用保険**
 予防接種法に基づく予防接種に起因して、被接種者が身体障害を被った場合、町村等が予防接種法に従い支出する費用に対して保険金を支払います。

C 保険 **行政措置災害補償保険**
 町村等が実施主体となって行う予防接種（行政措置接種）を受けた者が、その予防接種に起因して身体障害を被った場合、町村等が「予防接種災害補償規程」に基づき負担する補償費用に対して保険金を支払います。

行政措置接種と判断されるためには、以下の①～③の要件を満たすことが必要です。

- ① **被接種者の特定と周知の徹底**
 被接種者の特定とは、対象者を特定することです。例えば、被接種者の年齢や性別を限定することが挙げられます。周知方法としては、広報紙やホームページを活用した周知方法で構いません。
 - ② **委託医師・医療機関の特定と確保**
 実際に予防接種を行う医師を町村等が事前に認識し、依頼をしていることが大切です。必ずしも契約書という形である必要はなく、委託や依頼状などでも問題はありません。なお、医師会を介して医師に委託をする場合を含みます。
 - ③ **要綱等の作成と関係各方面への周知**
 町村等が実施主体となって行う予防接種である旨が記載された文書の作成が必要となります。また、必要に応じて、関係各方面への周知等の実施をする必要があります。なお、広報紙やホームページを活用した周知方法でも構いません。
- ※住民が任意に受ける接種に対して、事後的に接種費用の助成のみ実施する場合などは、行政措置接種に該当しません。



A保険とB保険C保険との関係

法定の救済措置または、町村等が制定する「予防接種災害補償規程」による給付と、被保険者が法律上負担する賠償責任に対して保険金を支払う損害賠償保険金（A保険）は併給されます。つまり、B保険、C保険で給付される補償保険金は損害賠償保険金（A保険）の一部とせず併給することになります。

個人情報漏えい保険（賠償責任保険）

被害者への損害賠償による損害

町村等が行う業務の遂行に関して、日本国内において個人情報を漏えいしたことまたはそのおそれがあることに起因して、損害賠償請求がなされたことにより、町村等が法律上の賠償責任を負担することによって被る損害に対して保険金を支払います。
 （注）個人情報漏えい保険で対象とする「町村等が行う業務」は、賠償責任保険で対象とする業務と同じです。

漏えい発生時の対応費用（プロテクト費用）による損害

町村等が行う業務の遂行に関して、日本国内において個人情報を漏えいしたことまたはそのおそれがあることに起因して、町村等が実施する下記の措置に要する費用（プロテクト費用）に対して保険金を支払います。

- ① 謝罪のための会見、発表、広告等費用
 - ② 事故原因の調査費用
 - ③ 謝罪文の作成、送付等の通信費用
 - ④ 交通費、出張費および宿泊費等
 - ⑤ 被害者に対する見舞品を購入した場合の費用（送付先1件あたり500円限度）
 - ⑥ コンサルティング費用
- （注）以下の措置により漏えいまたはそのおそれの事実が客観的に明らかとなった場合にかぎり、
 1. 被保険者が行う新聞、雑誌、テレビ、ラジオまたはこれらに準じる媒体による会見、発表、広告等
 2. 本人またはその家族への謝罪文の送付
 3. 他の行政庁または警察への届出



ただし、次の事由に起因する損害については保険金支払いの対象外です。

- ① 町村等の故意による損害
- ② 戦争、外国の武力行使、武装反乱その他これらに類似の事変または暴動による損害
- ③ 地震、噴火、洪水、津波による損害
- ④ 町村等が、最初に当制度における個人情報漏えい保険に加入したときより前に事故が発生したことを町村等が知っていたとき など

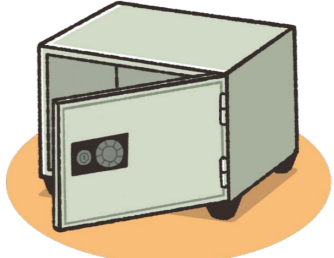
公金総合保険（動産総合保険）

町村もしくは町村の委嘱を受けた者の管理下にある公金（通貨、小切手、収入証紙、定額小為替、約束手形をいいます。）が輸送中、保管中を問わず、次の事故により損害を受けた場合、保険金をお支払いします。

- ① 火災・爆発による損害
- ② 盗難・強盗・引ったくりによる損害
- ③ 台風・こう水・土砂崩れによる損害
- ④ 詐欺による損害

ただし、次の場合は対象となりませんのでご注意ください。

- ① 町村等の故意もしくは重大な過失または法令違反による損害
- ② 町村職員等の単独もしくは第三者と共謀して行った窃盗、強盗、その他これらに類似の行為（横領など）による損害
- ③ 勘定誤り、出納の過誤による損害
- ④ 帳簿、帳票等により確認ができない損害 など





補償保険 (災害補償保険)

町村等が主催・共催する行事（活動）および社会奉仕活動（ボランティア活動）に参加する住民等第三者が死亡または身体障害（後遺障害を伴うものにかぎりません。）もしくは入院・通院を伴う傷害を被った場合、町村等が制定する「総合災害補償規程」に基づいて、その被災者に支払う補償費用に対して保険金を支払います。

対象となる町村等業務

- 1 学校教育活動（学校管理下における児童・生徒については、死亡・後遺障害のみで、入院・通院給付はありません。）
- 2 町村等が主催する社会体育活動。社会文化活動および社会福祉活動
- 3 その他町村等が主催（共催を含みます。）し、住民が参加する行事
- 4 社会奉仕活動（ボランティア活動）
- 5 選挙の投票所内での投票者も補償対象となります。

(注) ②③および④の行事・活動への往復途上も対象です。ただし、住居を出発する前に参加者名が町村等の備える名簿に確定していること、および、行事開催日・場所が客観的資料により確定できる必要があります。

なお、保険約款上、故意・病気・自然災害・変乱暴動・公務災害などによる災害は対象になりませんのでご注意ください。



主催の定義

本保険制度で対象とする主催行事等とは、以下の少なくとも1つの要件を満たした行事であり、町村等または町村等の委託を受けた者の管理下にある行事となります。

- 1 その行事等の企画・立案（日時、場所、スケジュール、参加者の範囲等）またはこれへの参加
- 2 運営担当者または体育指導委員等の参加あるいは設置
- 3 その行事等のための運営費の支出

共催の定義

本保険制度における共催とは、共同主催とみなせることが必要となります。したがって、実態上主催者としての要件を備えている場合は、その町村等が共催している行事等であるといえます。

社会奉仕活動(ボランティア活動)の定義

住民個人が、町村等の事前の承認あるいは依頼を受けて、次の要件をすべて満たして行う住民のための業務・活動を行います。

- 1 無報酬(注1)で行われる活動であること
- 2 労力の提供がなされること
- 3 団体(注2)あるいは町村等の管理下で行われるものであること



(注1) 無報酬とは労働の対価を得ていないという解釈で、昼食代・交通費等は報酬に含まれません。
 (注2) 団体とは、町内会、PTA、青年団、婦人会、子供会、NPO法人、その他ボランティア団体をいいます。必ずしもその町村等の住民だけで構成される必要はありません。

契約類型別保険金額および保険料分担金率

(取扱上の注意事項)

- (1) 賠償責任保険と補償保険は、併せて保険金が支払われます。
- (2) 予防接種保険においては、「予防接種賠償責任保険（A保険）」、「法定救済措置費用保険（B保険）」および「行政措置災害補償保険（C保険）」がセットとなっています。
- (3) 補償保険の入院・通院日数による保険金額は下表のとおりです。入院保険金と通院保険金の両方の支払いはできませんので、入院と通院を伴う傷害の場合は、どちらか一方を請求してください。



賠償責任保険(身体賠償)

契約類型	保険金額	
	1名	1事故(**)
5,000万円型	5,000万円	5億円
1億円型	1億円	10億円
1.5億円型	1.5億円	15億円
2億円型	2億円	20億円
3億円型	3億円	30億円

賠償責任保険(財物賠償)

契約類型	保険金額
	自己負担額なし(免責金額)
1,000万円型	1,000万円
2,000万円型	2,000万円
1億円型	1億円

健診賠償保険

保険金額	医療施設 ^(※) の事故
医療行為上の事故	
対人1事故 1億円	対人1名 1億円 対人1事故 2億円 対物1事故 1千万円
年間総額 3億円	
自己負担額 なし	自己負担額 なし

(※) 土砂災害に起因する事故に関しては、1名あたり保険金額の3倍が限度となります。

(※) 保健・福祉事業の医療等業務を行う場合のみ対象となります。



予防接種保険 (賠償責任保険にセット)

A保険 (賠償責任保険)

支払限度額	
1事故につき	保険期間中
1億円 自己負担額(免責金額)なし	3億円 自己負担額(免責金額)なし

B保険 (法定救済措置費用保険)

	保険金額	
	死亡保険金	障害保険金
A類疾病および臨時接種	1,100.0万円	1級 1,100.0万円 2級 732.5万円 3級 559.0万円
B類疾病	生計維持者の場合 548.9万円 生計維持者以外の場合 183.3万円	1級 548.9万円 2級 365.9万円
新たな臨時接種	生計維持者の場合 855.0万円 生計維持者以外の場合 642.5万円	1級 855.0万円 2級 569.4万円 3級 434.3万円

C保険 (行政措置災害補償保険)

保険金額	
死亡補償保険金	障害補償保険金
4,400万円	1級 4,400万円 2級 2,929.9万円 3級 2,236.7万円

B保険とC保険の保険金額は2019年4月1日時点のものです。



個人情報漏えい保険

契約型	年間支払限度額	対応費用(プロテクト費用)	
		1事故	年間支払限度額
1億円型	1億円	1,000万円	3,000万円
2億円型	2億円		

※精神的苦痛に対する賠償は個人情報1件につき30万円限度。
 ※対応費用は縮小でん補割合90%。



補償保険 (医療補償保険を含みます。)

契約類型	保険金額			
	死亡	後遺障害	入院	通院
I型	200万円	8万円~200万円	1万円~15万円	1万円~6万円
II型	500万円	20万円~500万円	1万円~15万円	1万円~6万円
III型	500万円	20万円~500万円	2万円~30万円	0.5万円~12万円

入院医療補償保険金の内訳

入院日数	I・II型	III型
1~5日	1万円	2万円
6~15日	3万円	6万円
16~30日	6万円	12万円
31~60日	9万円	18万円
61~90日	12万円	24万円
91日以上	15万円	30万円

通院医療補償保険金の内訳

通院日数	I・II型	III型
1~5日	—	0.5万円
6~15日	1万円	2万円
16~30日	3万円	6万円
31~60日	4.5万円	9万円
61日以上	6万円	12万円



公金総合保険

保険金額
一般会計歳入額の20%

事故発生時の対応

事故発生時の一般的な対応のポイント紹介



1

事故による損害の拡大を防ぎます。

損害を最小限にするため、できるかぎりの対応を行いましょう。具体的には、危険があることを周囲に知らせる、周囲の協力を得る、応急処置や救急車の手配、避難誘導、家族への連絡、警察への連絡、入場制限などの緊急対策が挙げられます。

2

上司に報告、関係部課へ速やかに連絡します。

事故が発生した場合は、ただちに上司や担当課に報告しましょう。事故に適切に対応し、解決を図るためには、問題を一人で抱え込むことなく、組織的に対応することが必要です。

3

事故情報の収集と事故対応の経過をできるかぎり記録しておきましょう。

被害者との示談等を進めるうえで、事実関係を正確に把握することが非常に大切です。加えて、事故の再発防止策を講じ、事故軽減につなげるうえで重要な資料となります。

4

事故対応責任者の設置等、庁内の役割分担を確認し、連携を図ります。

話した相手によって内容が異なると被害者に不信感を与えます。また、町村等が法律上業務を負う損害賠償の額は、議会の議決が必要となるものもあります。事故対応総括責任者、被害者対応・情報収集・広報の責任者等を明確化にし、関係部署と連携を図り信頼に結びつく対応をしましょう。

5

被害者に対しては誠意を尽くすことが大切です。

電話による連絡、自宅訪問、病院へのお見舞いまたは死亡事故の場合は葬儀への参列など、誠意をもって丁寧に対応することが必要です。具体的な対応については、個々人の判断に依らず、関係部門とも相談しましょう。

事故手続きの流れ（保険会社との連携のポイント）

事故が発生した場合は、事故と被害の因果関係、賠償責任の発生の有無、町村等と被害者との過失割合など、専門的な判断が必要となる場合が数多く出てきます。そのため、保険会社とできるかぎり、早期に相談をしていただくことで、事故の円満な解決につながります。



事故の円満な解決に向けての保険会社の対応

損保ジャパン日本興亜では、賠償事故の示談交渉にあたっては、専門的な判例の分析、統計の整理等を行っており、町村等の立場に立ち、数多くの事業に対応してきた豊富な知識と経験をもとに、事故の円満な解決に向け、適切な支援を行う体制となっております。

保険法施行に伴う先取特権

保険法施行に伴い、賠償責任保険の保険金請求権については、被害者が先取特権を有します。保険金の受取人を被害者とするか、被保険者（町村等や一部事務組合等）とするかについては、保険金請求書により指図します。

個人情報の取扱いに関するご注意

事故の際には、取得する被害者の個人情報に関する取扱いについては十分な注意と適切な対応が必要となります。事故解決にあたって、保険会社に被害者に関する個人情報を提供することについての被害者からの同意書の雛形は「手引」に示しておりますので、参考にしてください。

ご契約に関するお問い合わせ先 各種損害保険に関するご質問・ご相談は、損保ジャパン日本興亜の営業店までご連絡ください

	県名	部店名	担当店名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号	
北海道	北海道	札幌法人営業部	営業第一課	060-8552	札幌市中央区北1条西6-2	(011) 281-6144	(011) 210-6308	
東北	青森	青森支店	法人支社	030-0801	青森市新町1-1-14	(017) 777-7171	(017) 777-0505	
	岩手	岩手支店	盛岡支社	020-0021	盛岡市中央通2-11-17	(019) 653-4141	(019) 653-3427	
	宮城	仙台支店	法人第一支社	983-0852	仙台市宮城野区榴岡3-7-35	(022) 298-1352	(022) 298-2271	
	秋田	秋田支店	法人支社	010-0921	秋田市大町3-3-15	(018) 862-4463	(018) 864-8538	
	山形	山形支店	山形第二支社	990-0023	山形市松波1-1-1	(023) 623-7043	(023) 626-1338	
	福島	福島支店	法人支社	960-8105	福島市仲間町9-16	(024) 523-2291	(024) 503-0385	
関東	茨城	茨城支店	法人支社	310-0021	水戸市南町2-4-46	(029) 231-8043	(029) 221-8047	
	栃木	栃木支店	法人支社	320-0811	宇都宮市大通り1-1-11	(028) 627-8071	(028) 627-0067	
	群馬	群馬支店	法人支社	371-0023	前橋市本町1-4-4	(027) 223-5111	(027) 243-6153	
	埼玉	埼玉中央支店	法人支社	330-0854	さいたま市大宮区桜木町2-285-2	(048) 648-6010	(048) 648-6011	
	千葉	千葉支店	法人支社	260-0026	千葉市中央区千葉港8-4	(043) 243-3086	(043) 243-3064	
	東京	団体・公務開発部	第三課	160-8338	新宿区西新宿1-26-1	(03) 3349-5408	(03) 6388-0162	
	神奈川	横浜支店	営業第一課	231-0007	横浜市中央区弁天通5-70	(045) 661-2713	(045) 201-7252	
	山梨	山梨支店	法人支社	400-0858	甲府市相生1-4-23	(055) 233-7837	(055) 233-5135	
	北信	新潟	新潟支店	法人マーケット開発支社	950-8661	新潟市中央区万代1-4-33	(025) 244-5140	(025) 244-5186
		富山	富山支店	法人支社	930-0029	富山市本町3-21	(076) 444-5005	(076) 444-5010
石川		金沢支店	法人支社	920-8558	金沢市香林坊1-2-21	(076) 262-2507	(076) 232-1195	
福井		福井支店	法人支社	910-8528	福井市中央3-6-2	(0776) 24-0204	(0776) 84-2390	
長野		長野支店	長野法人支社	380-0816	長野市三輪武井1313-11	(026) 235-8126	(026) 235-8064	
東海		岐阜	岐阜支店	法人支社	500-8842	岐阜市金町5-20	(058) 266-8625	(058) 266-4038
	静岡	静岡法人営業部	静岡法人支社	420-0031	静岡市葵区呉服町1-1-2	(054) 254-2411	(054) 251-7824	
	愛知	名古屋企業営業部	金融公務室	460-8551	名古屋市中区丸の内3-22-21	(052) 953-3894	(052) 953-3695	
	三重	三重支店	津支社	514-0004	津市栄町3-115	(059) 226-3011	(059) 228-4397	
	近畿	滋賀	滋賀支店	営業課	520-0806	大津市打出浜3-20	(077) 523-3185	(077) 522-2078
京都		京都支店	法人支社	604-8152	京都市中京区烏丸通錦小路上手洗水町671	(075) 252-1016	(075) 283-0135	
大阪		大阪金融公務部	第一課	550-8577	大阪市西区江戸堀1-11-4	(06) 6449-1050	(06) 6449-1388	
兵庫		神戸支店	法人第一支社	650-8501	神戸市中央区栄町通3-3-17	(078) 333-2595	(078) 333-2674	
奈良		奈良支店	法人支社	630-8115	奈良市大宮町6-2-8	(0742) 34-9161	(0742) 34-3272	
和歌山		和歌山支店	和歌山中央支社	640-8331	和歌山市美園町3-32-1	(073) 433-0400	(073) 431-3479	
中国		鳥取	山陰支店	鳥取支社	680-0822	鳥取市今町2-112	(0857) 23-3301	(0857) 27-1510
		島根	山陰支店	松江支社	690-0007	松江市御手船場町549-1	(0852) 21-9700	(0852) 27-7841
	岡山	岡山支店	法人支社	700-0913	岡山市北区大供1-2-10	(086) 225-1045	(086) 225-1220	
	広島	広島支店	法人第一支社	730-0031	広島市中区紙屋町1-2-22	(082) 243-6201	(082) 542-5597	
	山口	山口支店	法人支社	753-0076	山口市泉都町7-11	(083) 924-3005	(083) 923-8053	
四国	徳島	徳島支店	法人支社	770-0939	徳島市かちどき橋1-25	(088) 655-9637	(088) 622-9656	
	香川	高松支店	法人支社	760-0027	高松市紺屋町1-6	(087) 825-0915	(087) 825-0910	
	愛媛	愛媛支店	法人支社	790-0011	松山市千舟町4-6-3	(089) 943-1917	(089) 933-9582	
	高知	高知支店	法人支社	780-0870	高知市本町2-1-6	(088) 822-6205	(088) 822-5364	
	九州	福岡	福岡支店	営業第一課	812-8668	福岡市博多区博多駅前2-5-17	(092) 481-5310	(092) 414-9871
佐賀		佐賀支店	協賛社(マーケット開発部)	840-0804	佐賀市神野東1-3-18	(0952) 23-8191	(0952) 23-0394	
長崎		長崎支店	法人支社	850-0033	長崎市万才町3-16	(095) 826-7290	(095) 821-8889	
熊本		熊本支店	法人支社	860-8526	熊本市中央区花畑町10-26	(096) 326-9355	(096) 322-6108	
大分		大分支店	法人支社	870-0027	大分市末広町2-10-22	(097) 538-1510	(097) 532-7940	
宮崎		宮崎支店	法人支社	880-0805	宮崎市橋通東5-3-10	(0985) 27-8351	(0985) 26-6112	
鹿児島		鹿児島支店	法人支社	890-0053	鹿児島市中央町11	(099) 812-7504	(099) 251-1025	
沖縄		沖縄支店	法人支社	900-0015	那覇市久茂地3-21-1	(098) 861-4577	(098) 864-1580	

(2019年8月現在)

事故発生時の連絡先一覧 事故が発生した時には、損保ジャパン日本興亜の保険金サービス課までご連絡ください

	県名	担当保険金サービス課	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号	
北海道	北海道	北海道火災新種保険金サービス課	060-8552	札幌市中央区北1条西6-2	(011) 222-4011	(011) 251-5894	
東北	青森	青森保険金サービス課	030-0801	青森市新町1-1-14	(017) 773-2711	(017) 773-4420	
	岩手	盛岡保険金サービス課	020-0021	盛岡市中央通2-11-17	(019) 653-4145	(019) 653-2687	
	宮城	仙台火災新種保険金サービス課	983-0852	仙台市宮城野区榴岡3-7-35	(022) 298-2280	(022) 298-2290	
	秋田	秋田保険金サービス課	010-0921	秋田市大町3-3-15	(018) 862-8423	(018) 863-7924	
	山形	山形保険金サービス課	990-0023	山形市松波1-1-1	(023) 624-1735	(023) 625-0020	
	福島	郡山保険金サービス課	963-8878	郡山市堤下町9-4	(024) 922-2614	(024) 922-2458	
関東	茨城	茨城火災新種保険金サービス課	310-0021	水戸市南町2-4-46	(029) 302-5161	(029) 231-8354	
	栃木	栃木火災新種保険金サービス課	320-0807	宇都宮市松が峰1-3-16	(028) 633-7431	(028) 633-7456	
	群馬	群馬火災新種保険金サービス課	371-0023	前橋市本町2-11-2	(027) 223-5120	(027) 243-6154	
	埼玉	埼玉火災新種保険金サービス課	330-0854	さいたま市大宮区桜木町4-82-1	(048) 648-6006	(048) 647-5869	
	千葉	千葉火災新種保険金サービス課	260-8560	千葉市中央区弁天1-15-3	(043) 252-1800	(043) 252-1836	
	東京	団体保険金サービス課	164-8608	中野区中野4-10-2	(03) 5913-3955	(03) 3385-5500	
	神奈川	神奈川火災新種保険金サービス課	231-8422	横浜市中区本町2-12	(045) 661-2626	(045) 201-2061	
	山梨	山梨保険金サービス課	400-0031	甲府市丸の内1-12-4	(055) 235-2067	(055) 237-7323	
	信越	新潟	新潟火災新種保険金サービス課	950-8661	新潟市中央区万代1-4-33	(025) 244-5191	(025) 244-8130
	北陸	富山	富山保険金サービス課	930-0029	富山市本町3-21	(076) 441-3375	(076) 433-2050
石川		金沢火災新種保険金サービス課	920-8558	金沢市香林坊1-2-21	(076) 232-2434	(076) 232-2193	
福井	福井	福井保険金サービス第一課	910-8528	福井市中央3-6-2	(0776) 21-6128	(0776) 84-0153	
	長野	長野火災新種保険金サービス課	380-0824	長野市南石堂町1293	(026) 228-7331	(026) 228-7341	
	長野	長野火災新種保険金サービス課(松本)	390-0874	松本市大手3-4-5	(0263) 33-3114	(0263) 37-0452	
東海	岐阜	愛知火災新種保険金サービス第二課	460-8551	名古屋市中区丸の内3-22-21	(052) 953-3903	(052) 953-3092	
	静岡	静岡火災新種保険金サービス課	420-0031	静岡市葵区呉服町1-1-2	(054) 254-1291	(054) 254-3529	
	愛知	愛知火災新種保険金サービス第一課	460-8551	名古屋市中区丸の内3-22-21	(052) 953-3911	(052) 953-3691	
	三重	愛知火災新種保険金サービス第一課	460-8551	名古屋市中区丸の内3-22-21	(052) 953-3911	(052) 953-3691	
	近畿	滋賀	京都火災新種保険金サービス課	600-8102	京都市下京区五条通河原町西入本覚寺前町801	(075) 343-6717	(075) 343-6727
京都		京都火災新種保険金サービス課	600-8102	京都市下京区五条通河原町西入本覚寺前町801	(075) 343-6717	(075) 343-6727	
大阪		大阪火災新種保険金サービス第一課(賠償)	541-0057	大阪市中央区北久宝寺町3-6-1	(06) 4704-2024	(06) 4704-2135	
大阪		大阪傷害所得保険金サービス課(補償)	541-0057	大阪市中央区北久宝寺町3-6-1	(06) 4704-2238	(06) 4704-2403	
兵庫		兵庫火災新種保険金サービス課	650-0023	神戸市中央区栄町通4-2-16	(078) 371-1017	(078) 371-1026	
奈良		大阪火災新種保険金サービス第二課(賠償)	541-0057	大阪市中央区北久宝寺町3-6-1	(06) 4704-2040	(06) 4704-2147	
奈良		大阪傷害所得保険金サービス課(補償)	541-0057	大阪市中央区北久宝寺町3-6-1	(06) 4704-2238	(06) 4704-2403	
和歌山		大阪火災新種保険金サービス第二課(賠償)	541-0057	大阪市中央区北久宝寺町3-6-1	(06) 4704-2040	(06) 4704-2147	
和歌山		大阪傷害所得保険金サービス課(補償)	541-0057	大阪市中央区北久宝寺町3-6-1	(06) 4704-2238	(06) 4704-2403	
中国		鳥取	松江保険金サービス課	690-0007	松江市御手船場町549-1	(0852) 21-9755	(0852) 21-8970
		島根	松江保険金サービス課	690-0007	松江市御手船場町549-1	(0852) 21-9755	(0852) 21-8970
	岡山	岡山火災新種保険金サービス課	700-0913	岡山市北区大供1-2-10	(086) 232-3665	(086) 223-1565	
	広島	広島火災新種保険金サービス課	730-8710	広島市中区紙屋町2-1-22	(082) 243-6364	(082) 243-6147	
	山口	下関保険金サービス課	750-0018	下関市豊前田町2-8-10	(083) 231-6686	(083) 224-0231	
四国	徳島	高松火災新種保険金サービス課	760-0056	高松市中新町2-8	(087) 833-3273	(087) 833-3319	
	香川	高松火災新種保険金サービス課	760-0056	高松市中新町2-8	(087) 833-3273	(087) 833-3319	
	愛媛	松山保険金サービス第二課	790-0011	松山市千舟町4-6-3	(089) 946-0044	(089) 932-0121	
	高知	高知保険金サービス課	780-0822	高知市はりまや町1-5-1	(088) 880-5057	(088) 880-5070	
	九州	福岡	福岡火災新種保険金サービス第一課	812-8668	福岡市博多区博多駅前2-5-17	(092) 481-0910	(092) 481-0902
福岡		福岡火災新種保険金サービス第二課	812-8668	福岡市博多区博多駅前2-5-17	(092) 481-0930	(092) 481-0904	
佐賀		福岡火災新種保険金サービス第二課	812-8668	福岡市博多区博多駅前2-5-17	(092) 481-0930	(092) 481-0904	
長崎		長崎保険金サービス課	850-0032	長崎市興善町2-24	(095) 821-0090	(095) 821-2566	
熊本		熊本火災新種保険金サービス課	860-8526	熊本市中央区花畑町10-26	(096) 326-9020	(096) 322-3990	
大分		大分保険金サービス課	870-0027	大分市末広町2-10-22	(097) 538-1586	(097) 532-9847	
宮崎		宮崎保険金サービス課	880-0805	宮崎市橋通東5-3-10	(0985) 27-7137	(0985) 28-1737	
鹿児島		鹿児島火災新種保険金サービス課	890-0053	鹿児島市中央町11番地	(099) 812-7512	(099) 251-1124	
沖縄		沖縄保険金サービス課	900-0015	那覇市久茂地3-21-1	(098) 862-2091	(098) 868-9239	

(2019年8月現在)